

郡山普及だより Yes! 農!!!

発行:福島県県中農林事務所農業振興普及部
住所:〒963-8540 郡山市南一丁目94番
TEL:024-935-1321 FAX:024-945-8076

新任 指導農業士 柳沼 宏樹さん（片平・水稻+いちご+ぶどう）

柳沼宏樹さんは、片平地区で水稻・いちご・ぶどうの複合経営に取り組んでいます。水稻ではFGAPを取得して「福、笑い」を栽培し、高収量と優れた食味・品質を両立したお米を安定して生産しています。いちごは父親から受け継いだ技術を生かし、本県育成品種の「ふくはる香」を中心に栽培しながら品質向上に努めています。今後は県指導農業士として後継者育成にも力を発揮したいとおっしゃっていました。



揺るぎない信頼をされる郡山きゅうり産地を目指して

当部では、郡山地域のきゅうり高付加価値化や生産力強化等のブランド力の強化を目指し、令和7年度に市場関係者ヒアリングや全生産者アンケート等による産地分析を実施し、「郡山・きゅうりならではプラン」を策定しました。



きゅうりプロジェクトチーム会議

令和8年度から3年間は、計画実践のため「産地を支える多様な担い手の確保と育成」、「品質のさらなる向上」等の取組を生産者や関係機関とともに行うこととしています。

また、プランを実践するにあたっては、JA福島さくら、郡山市等の関係機関で組織する郡山地域きゅうり振興プロジェクトチーム会議において、取組内容を十分に検討し進めてまいります。

堆肥マップをご活用ください

郡山市では耕畜連携を図るため、堆肥の供給が出来る農家をリスト化した、堆肥マップを作成しています。

家畜ふん堆肥には土壌改良効果のほか窒素などの肥料成分が含まれていることから、化学肥料の施肥量を削減することができます。

積極的に堆肥を活用し、土づくりをしながら持続的な農業を行いましょう。



堆肥マップ
はこちら

鳥獣被害に負けない集落づくりを目指して



出没を確認するためのセンサー
カメラ設置の様子

当部では、令和8年度より湖南町赤津地区に鳥獣被害防止対策モデル集落を設置しました。赤津地区はこれまでイノシシによる農作物被害が発生していましたが、近年はニホンジカによる被害も増加しており、総合的な被害防止対策が必要となっています。今年は集落環境診断を行い、地域の現状を把握した上で効果的な対策について検討を進めていきます。

鳥獣被害防止対策は継続した取組が重要であることから、地域で協力しながら農作物を守る体制作りを進め、安心して農業生産が行えるように支援していきます。

トマト黄化葉巻病のまん延防止に御協力をお願いします

郡山地域を含む福島県内において、タバココナジラミが媒介するウイルス病「トマト黄化葉巻病」の発生が増えています。まん延を防ぐために、下記の5つの対策をお願いします。

1. ハウス内に入れない
2. ハウス内で増やさない
3. ハウス外に出さない
4. ハウス内外の雑草や野良生えトマトの管理
5. 抵抗性品種の利用

※詳細は、福島県病害虫防除所
HPを御確認ください。

トマト黄化葉巻病の
病徴（生長点付近に
黄化葉巻症状）→



← 蔓延防止対策は
こちら

クビアカツヤカミキリに注意

クビアカツヤカミキリは特定外来生物であり、すでに隣県でも発生が確認されています。モモ、スモモ、オウトウなどの果樹のほか、



樹体被害の様子

「福島県農業総合センター
果樹研究所」写真提供

街路樹のサクラも加害し、甚大な被害をもたらします。本種の幼虫は樹体内部を食害し大量のフラス（木くずとふんが混ざったもの）を排出することを特徴とします。本種の発生が疑われる場合には、以下まで御連絡ください。

- ・福島県自然保護課（024-521-7210）
- ・福島県県中農林事務所農業振興普及部（024-935-1321）
- ・福島県農業総合センター安全農業推進部発生予察課（024-958-1709）



クビアカツヤ
カミキリ成虫

郡山農業塾を開催しています

当部では、新規就農者のフォローアップの一環として、毎年、基礎的な技術や知識を習得する研修会である「郡山農業塾」を開催しています。

今年度は研修会に加え、新規就農者の方々が、先輩農業者の方々に気軽に相談できる場として、交流会を全5回開催します。

5月28日(木)開催の第1回交流会では、受講生4名がご自身の農業へのビジョンや経営計画(栽培する作物、年間スケジュール等)について発表し、先輩農業者3名からアドバイスを頂きました。受講生からは様々な質問が出され、活発な意見交換の場となりました。

郡山農業塾につきましては、今後も幅広い方々が参加できる研修会を開催予定です。新たに農業を始めた方、始めたい方など、多くの皆様のご参加をお待ちしております。



福島県 RTK システムの利用申請について

福島県では、自動操舵トラクタ・ドローン等の高精度測位に必要なRTK基地局を県内11箇所に設置しております。作業の省力化や精密作業が可能になりますので、是非ご活用ください。

お申し込みは農業振興課(024-935-1307)までお願いします。

福島県高精度測位システム
(福島県RTKシステム) →



福島県RTKシステムチラシ →



1400のネタばらしについて

福島県農林水産部公式YouTubeチャンネル「1400のネタばらし」をご存じですか?令和4年度から、県産農林水産物などの魅力を職員自らが直接取材し、動画等により発信する取組をスタートしました。令和8年4月には、県中農林事務所普及部職員が作成した2点の動画が公開されていますので、是非ご覧ください。

見て見て、郡山のトルコギキョウ!
～あなたも栽培してみませんか?～



学生レストランの実態に迫る!



早い時期から熱中症対策を心がけましょう

農作業中の熱中症による死亡事故が多発しています。こまめな休憩や熱中症予防アイテムを活用して、熱中症の発症を予防しましょう。

近年、地球温暖化の影響によって気温が上昇傾向にあり、夏本番前に真夏日を迎えている状況にあります。特に、ハウス内は気温が上がりやすく、熱中症が起こりやすい場所のひとつです。体調に注意して農作業を行いましょう。

ラベル確認、器具の洗浄、飛散防止対策により農薬を安全・適正に使用しましょう！

農業振興普及部では、農薬の安全かつ適正な使用を推進しています。

残留基準超過の多くは、①使用基準違反、②防除器具の洗浄不足、③周辺からの飛散が原因です。農薬の使用に当たっては、必ずラベルを確認し、①適用農作物、②使用量・希釈倍数、③使用時期、④有効成分ごとの総使用回数等の使用基準を遵守しましょう。

飛散防止対策や農薬散布後の器具の洗浄も十分に行ってください！

職員紹介

令和8年度の農業振興普及部は、27名で活動していきます。
よろしくお願いいたします。

所属	職 名	氏 名	
農業振興課	部 長	志賀 忠市	
	副部長	朽木 靖之	■
	課 長	鈴木 浩之	
	主任主査	片倉 真沙美	
	主 査	橋本 和則	
	主 査	水野 善英	
	主 査	橋本 周子	
	副主査	末永 俊彦	■
	副主査	猪狩 真里	
	技 師	青木 大祐	
	主 事	菅家 美砂子	
	主 事	高橋 紀子	■
	専門員	積口 和司	
	会計年度任用職員	草野 奈央	

所属	職 名	氏 名	専 門	
地域農業推進課	課 長	小林 祐一	花 き	■
	主任主査	佐藤 祐子	作 物	
	主 査	古和田 壘	作 物	■
	主 査	齋藤 正頼	作 物	■
	技 師	小柳 穂奈乃	畜 産	■
	技 師	佐藤 まりも	畜 産	★
経営支援課	課 長	我孫子 佳央里	果 樹	
	主任主査	野田 智美	野菜特産	
	主 査	佐藤 翔平	果 樹	■
	主 査	鈴木 詩帆里	花 き	
	主 査	畑 有季	野菜特産	
	技 師	八島 梅乃	花 き	
	専門員	加藤 義明	野菜特産	

転入者 ■

新採用 ★



福島県 県中農林事務所 農業振興
← 普及部のトップページは [こちら](#)



← 「郡山普及だより」バックナンバー
(No.60号以降) が読めます